
第256号
2007年8月17日

日本気象学会

関西支部ニュース

○2007年度関西支部理事会報告	〒540-0008
○2007年度関西支部総会・年会報告	大阪府中央区大手前4丁目1-76
○第27期第6回常任理事会報告	大阪合同庁舎第4号館
○関西支部第29回夏季大学報告	大阪管区気象台内
○2007年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ	日本気象学会関西支部
○2007年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者募集結果	振替 00980-5-18318
○2007年度関西支部刊行物と刊行物バックナンバーの販売	TEL (06)6949-6322
	FAX (06)6944-2121
ホームページ	http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/
E-mail	msj-kns@s2.dion.ne.jp

○ 2007年度関西支部理事会報告

2007年度総会に先立ち、理事会が6月23日(土)11時00分から大阪府中央区天満橋の大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)の4階大会議室で開催されました。小澤支部長の挨拶の後、異動等による役員の欠員補充について、小澤支部長、長澤常任理事、石田・廣田・好本・木村各地区理事、山本伸二幹事の役員就任が報告されました。2007年度支部奨励金受領候補者は今年度も該当者はありませんでしたが、2006年度研究グループ助成は岡山理科大学の大橋氏を代表者とする「局地風の数値モデリングに関する研究グループ」に助成を行った旨、報告されました。

支部助成の奨励金への一本化について、昨年の理事会において、恵まれない環境で調査研究を推進している個人やグループに対して行う奨励金の制度をより充実し、グループ助成については廃止する方向で検討していることが報告され、その後、常任理事会において議論を続け、今年の理事会で「日本気象学会関西支部調査研究奨励基金及び調査研究奨励金授与規定」の改正と、「運用に関する内規」および「研究グループ助成要領」を廃止して奨励金への一本化を行う旨、提案されました。主な改正内容は「奨励金受領者は支部ニュースによって募集を行い原則として年1件とし、奨励金は1件10万円とする。基金はかつて日本気象協会関西本部から寄付されたものを充てる。」というもので、反対意見はなく、「支部助成の奨励金への一本化」は理事会の承認を得ました。

総会資料の検討では、2006年度事業報告、会計報告・会計監査報告の説明が各担当から行われました。続いて、2007年度の事業計画案・予算案について、担当理事から説明がありました。夏季大学については「地球温暖化の現状と将来」と題して京都で開催する予定であること、また関西気象予報士会と共催で「気象サイエンスカフェ」を東京と同様な形態で開催することを目指し、その第1回は12月初旬に予定していることが報告されました。また、中国地区例会が11月10日に岡山市で、四国地区例会が11月30日に高知市でそれぞれ計画されていることが各地区理事から報告がありました。

夏季大学の参加者が年々減少しており、各大学や各府県の教育委員会を通じたより積極的な広報活動を展開する必要性が強調されました。また、地区理事から夏季大学のテキストの残部がかなり出ていることに関連し、テキスト印刷数の縮減が提案されました。検討の結果、今年度から印刷部数は200部と昨年までより50部減らすことが決まりました。

この夏季大学予算案を修正したうえで、事務局が提案した総会資料は理事会の承認を得た。

2007年度役員および任務分担（4月期異動による）は次のとおりです。

【常任理事】

- ・ 支部長 小澤芳郎（大阪管区气象台）
- ・ 研究発表担当 石川裕彦（京都大学）、塩谷雅人（京都大学）
小西啓之（大阪教育大学）、長澤芳美（大阪管区气象台）
- ・ 会計担当 松村 哲（大阪管区气象台）
- ・ 研究奨励担当 塩谷雅人（京都大学）、長澤芳美（大阪管区气象台）
- ・ 夏季大学担当 石川裕彦（京都大学）、塩谷雅人（京都大学）、
小西啓之（大阪教育大学）、渡部俊夫（大阪管区气象台）
- ・ 庶務担当 長澤芳美（大阪管区气象台）、渡部俊夫（大阪管区气象台）

【地区理事】

- ・ 近畿地区 石田寛人（日本気象協会）、廣田道夫（神戸海洋气象台）
- ・ 中国地区 山本 晋（岡山大学）、好本 誠（広島地方气象台）
- ・ 四国地区 佐々浩司（高知大学）、木村吉宏（高松地方气象台）

【会計監査】

岡本吉生（日本気象協会）

【幹 事】

山本真之（京都大学）、山本伸二（大阪管区气象台）、坂本徹重（大阪管区气象台）

○ 2007年度関西支部総会・年会報告

<2007年度気象学会関西支部総会>

2007年度関西支部総会は、6月23日（土）13時から大阪府立女性総合センター4階大会議室で開催されました。最初に総会成立審査を行い、担当役員から参加者と委任状をあわせて116名あり、全支部通常会員数187名の過半数を超え総会は成立しました。なお、通常会員のみ総会資料を送付し、委任状の提出を求めるはじめての総会となりましたが、今後も折に触れ通常会員と特別会員の違いを周知するとともに、必要に応じて通常会員への切り替えを行っていただくよう各会員にお願いしていきたい旨の説明がありました。

続いて、小澤支部長から関西支部会員のニーズに即した支部活動を行っていきたくとする開会の挨拶、理事・幹事等の役員紹介があり、その後は、京都大学の堀口会員を議長に選出して議事が進められました。

2006年度の事業報告・決算、2007年度の事業計画案・予算案、その他の議案については原案どおりすべて賛成多数で承認されました。

議案の審議が終了した後、会員から「総会の成立を容易にするために通常会員のみ議決権を与えることになったが、広報の不足から自分の意図に反して特別会員扱いになっている会員も多くおられるのではないかと。このような方は、インターネットが自由に使えない年配の方なども多く、支部の情報から疎くなっていると思われる。益々気象学会の会員離れを進ませる原因になりかねないので、総会資料が郵送される通常会員への切り替えの推奨や全会員が誰でも目にすることができるよう支部の広報活動の充実が望まれる。」との意見がありました。

これに対して支部役員から「はじめに説明しましたように、通常会員への切り替えについては今後も折に触れ周知を図っていききたい。」、「会員すべてにいきわたる機関紙「天気」の「支部だより」を用いた関西支部の情報提供について、今年の総会は3月号に、夏季大学の開催は5月号にそれぞれ掲載してもらっており、かなり事前の周知を行っている。今後も積極的に「支部だより」を活用した広報を行って支部の情報に疎い方がでにくい形に持っていきたい。」旨、説明がありました。

<2007年度気象学会関西支部年会>

総会で多かった空席が年会では発表に関係を持つ学生らの出席によりかなり埋まりました。発表件数は8題と昨年に比べ4題少

なかったため、発表時間は質疑も含め15分と昨年より長めにとることができ、発表者に対しても有益なコメントを提供することができたと考えます。

座長は前半を塩谷理事、後半を石川理事が担当し、それぞれの発表と質疑が行われました。今回の発表内容は、ウェブカメラを用いた局地的な雲の観測から熱帯地方を中心とした地球規模の気象解析まで幅広いものとなり、熱心な発表と質疑が繰り返され有意義なものとなりました。

○ 第27期第6回常任理事会報告

2007年7月18日(水)に開催され、以下の議題について報告及び討議を行いました。

- ① 第29回夏季大学の進捗状況について
- ② メーリングリストの維持・管理と活用について
- ③ 支部ニュース第256号の発行について
- ④ 気象サイエンスカフェの開催に向けて

なお、議事の詳細については関西支部のホームページにある「関西支部常任理事会議事録のページ(http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/meeting/meeting_log.html)」をご覧ください。

○ 関西支部第29回夏季大学報告

関西支部第29回夏季大学を、2007年8月7日(火)～8日(水)(いずれも午後)の2日間、キャンパスプラザ京都において、大阪管区气象台および日本気象協会関西支社の後援で開催しました。

今年のテーマは「地球温暖化の現状と将来」として、地球環境問題に関わる最新の状況と影響などについて理解していただく内容としました。受講者は昨年よりも多い54名の方々が聴講されました。それぞれの講座とも熱心な受講となり、講義のあとの質問も多くあり、予定時間をオーバーするなど盛況のうちに終了しました。以下は、各講師の講義の概要です。

1日目(8月7日午後～)

- ・野澤 徹氏(国立環境研究所室長)の「地球温暖化研究の最前線」では、今年初めに公表されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)第4次評価報告書の内容を中心に、最新の地球温暖化研究について、最初に大気の温室効果や地球のエネルギーバランス、気候システムなどの基本的な事柄について説明があり、その後に、長期観測データに基づく地球温暖化の現状、観測された長期気候変化の発現メカニズムの推定、気候モデルによる将来の地球温暖化予測やその不確実性評価、などに関する最先端の研究内容について解説された。
- ・本山秀明氏(国立極地研究所教授)の「南極氷床コアから分かる過去の地球環境変動」では、最初にドームふじ基地での氷床の掘削と分析作業の紹介があり、南極大陸を覆っている氷床は、毎年降り積もる雪が積み重なり次第に氷化し、氷は塑性変形によって流動し、数万年～数十万年かけて海に押し出される。そして氷床には大気とともに環境情報を持つさまざまな物質が輸送され、独立した気泡として氷の中に保存される。南極氷床は人為的な汚染起源から遠く離れており、その影響は少ないため、氷床コアから過去から現在への地球規模の気候変動、環境変動を明らかにすることができ、氷床コアから分かってきた地球環境の変遷について解説された。

2日目(8月8日午後～)

- ・早坂忠裕氏(総合地球環境学研究所教授)の「東アジアの経済発展と温室効果気体・エアロゾルの変動」では、工業化による東アジア諸国の経済発展は、石油・石炭等の化石エネルギーの消費量を増加させ、その結果、温室効果気体やエアロゾルの排出量を増加させた。エミッションインベントリや観測データに基づいて過去約20年間各種物質の排出量および大気中における濃度の時空間変動を解説され、この地域の気候変動に及ぼす人間活動の影響について説明された。

- ・増田啓子氏（龍谷大学経済学部教授）の「地球温暖化による身近な動植物への影響」では、近年、日本でも気温の上昇は顕著で、特に都市域では上昇率が高くなっている。地球温暖化による影響は比較的小さい日本でも、猛暑による人への影響や冬の最低気温の上昇による直接影響および間接影響、温暖化の影響かもしれないと思われる現象は多く、身の回りで見つけることができる。今大切なことは気候変化の環境指標でもある人間や身近な動植物から温暖化の程度をいち早く知り、さらなる影響が現れる兆候であることを察知することであり、温暖化の影響を知ること、今後の温暖化防止対策を講じる上で幅を広げてほしいと説明された。

最後に、講義いただいた講師の方々、ポスター作成から受け付けまでご協力をいただいた（財）日本気象協会関西支社、その他開催準備から当日にお世話いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

○2007年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ

2007年度関西支部例会・講演会を次の日程で開催します。会員・非会員によらず多数ご参加ください。例会のプログラム等詳細は、関西支部のホームページへ掲載するとともに、「天気」の「支部だより」でお知らせします。

第1回例会（中国地区）

開催期日	2007年11月10日（土）10時～17時30分
例会会場	岡山大学（岡山市津島中3丁目1-1）予定 （詳細は関西支部のホームページ等でお知らせします。）
特別講演	未定
例会発表申込締切日	2007年9月14日（金）
要旨集原稿の締切日	2007年10月10日（水）

第2回例会（四国地区）

開催期日	2007年11月30日（金）13時～17時30分
例会会場	高知大学（高知市曙町2-5-1） （詳細は関西支部のホームページ等でお知らせします。）
特別講演	未定
例会発表申込締切日	2007年9月14日（金）
要旨集原稿の締切日	2007年10月30日（火）

第3回例会（近畿地区）

開催期日	2008年2月
例会会場	（詳細は関西支部のホームページ等でお知らせします。）
テーマ	「海洋と気象」（海洋気象学会と共催）
特別講演	未定
例会発表申込締切日	2007年12月上旬
要旨集原稿の締切日	2008年1月上旬

発表の申込要領は以下のとおりです。上記期日までに、多数の発表申込をお待ちしています。

○ 申込先（幹事）

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 山本真之 行き
E-mail アドレス msj-kns@s2.dion.ne.jp

- 申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール（締切日必着）で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。
- 要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部ホームページ (<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/regular/genko.html>) でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。
- 要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。
- ビデオおよびスライドでの発表はできません。

日本気象学会関西支部 2007 年度例会発表申込

第 回例会（ 地区）

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター)：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者（支部会員のみ）を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」にもとづいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申し込みください。

- 申込先（常任理事）
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区气象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 長澤芳美 行き
E-mail : msj-kns@s2.dion.ne.jp TEL : 06-6949-6321 FAX : 06-6944-2121
- 締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日
- 申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2007 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会（例会の場合は地区名を含む）：

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・旅費(片道)の見積もり：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

《例会・年会旅費助成要領》

(目的)

1 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

2 日本気象学会関西支部会員を対象とする。

3 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。

4 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)。ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。

5 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

6 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。

7 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

8 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

9 その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

○2007年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集結果

支部ニュース第254号で2007年度関西支部調査研究奨励金候補者を募集していましたが、募集期限の4月21日(土)までに応募や推薦はありませんでした。同奨励金は会員の推薦や応募に基づいて常任理事会で選考し、10万円の奨励金が授与されるもので、関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている、あるいは学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人または複数名からなるグループに授与するために設けられています。2007年度内は引き続き受け付けますので、積極的な応募や推薦をお願いします。

(2007年度理事会で、グループ助成は廃止になり奨励金へ一本化されました。このため、奨励金授与規定は一部改正されました。)

応募や推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先(住所と電話番号)
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

なお、受領者は規定により、研究内容について年会、例会、又は日本気象学会大会で発表していただきます。

○2007年度関西支部刊行物と刊行物バックナンバーの販売

関西支部の今年度の刊行物は次のとおりです。

- | | | |
|---------------------------------|----------------|------|
| ・2007年度 関西支部年会講演予稿集 | 既刊 | 600円 |
| ・第29回夏季大学テキスト「地球温暖化の現状と将来」 | 既刊 | 600円 |
| ・2007年度 関西支部例会講演要旨集 第112号(岡山開催) | 2007年11月上旬刊行予定 | 600円 |
| ・2007年度 関西支部例会講演要旨集 第113号(高知開催) | 2007年11月中旬刊行予定 | 600円 |

・2007年度 関西支部例会講演要旨集 第114号(神戸開催) 2008年2月下旬刊行予定 600円

これらの刊行物の購入を希望される方は、事務局まで下記の書式で郵便、FAXまたは電子メールでお申込ください。印刷部数には限りがありますので、部数切れになる場合があることを予めご了承ください。なお、郵送を希望される方は、送付時に同封する郵便振替用紙にて送料を含む代金をお支払いください。

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名： 代表者（ ）
- ・送付先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL（ ） FAX（ ）
- ・連絡先E-mailアドレス：
- ・刊行物名と申込部数：
 - ・ 年度年会講演予稿集 部
 - ・ 例会講演要旨集 第 号 部
 - ・ 第 回夏季大学テキスト 部
- ・受取方法（ 郵送 / 事務局手渡し ）

関西支部刊行物バックナンバー（2004～2006年度刊行）ご希望の方は事務局まで、上記様式により、郵便または手渡し、FAXあるいは電子メールでお申し込みください。バックナンバーの郵送を希望された場合、代金（送料別）はバックナンバー送付時に同封する郵便振替用紙にてお支払い下さい。バックナンバーは、1冊300円です。

<夏季大学テキスト>（括弧内は残部）

- 第26回 2004年 身近な気象学(130)
- 第27回 2005年 台風(41)
- 第28回 2006年 ～大規模な流れから局地的な流れまで～(26)

<年会講演予稿集>（括弧内は残部）

2004年(29)、2005年(30)、2006年(14)

<例会講演要旨集>（括弧内は残部）

- 2004年度 103回中国(1)、104回四国(14)、105回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(40)
- 2005年度 106回四国(30)、107回中国(21)、108回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(49)
- 2006年度 109回中国(0)、110回四国(3)、111回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(44)